



埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

平成 28 年 7 月 27 日

(あて先)

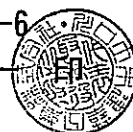
埼玉県知事

報告者 氏名又は名称 川口土木建築工業株式会社

住所 埼玉県川口市本町 4-11-6

法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 古川 元

電話番号 048-224-5111



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第13条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 事業活動の概要

ふりがな	かわぐちどぼくけんちくこうぎょう			
事業所の名称	川口土木建築工業株式会社(本社第1ビル、本社第2ビル、資材センター、春日部営業所、白岡営業所)			
事業所の所在地	〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-11-6 (本社第1ビル) 〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-16-15 (本社第2ビル) 〒333-0866 埼玉県川口市大字芝 6940 (資材センター) 〒344-0067 埼玉県春日部市中央 1丁目 16番 8 (春日部営業所) 〒349-0217 埼玉県南埼玉郡白岡町小久喜 674-3 (白岡営業所)			
事業の内容	総合建設業 不動産業			
事業の規模	資本金 (万円)	21,000 万円	主要製品	土木請負一式 建築請負一式 住宅販売
	従業員 人数(人)	260 人	事業所の 敷地面積(㎡)	本社第1ビル 626 ㎡ 本社第2ビル 1,476 ㎡ 資材センター 2,422 ㎡ 春日部営業所 - ㎡ 白岡営業所 - ㎡ 合 計 4,524 ㎡
	()		事業所の 延床面積(㎡)	本社第1ビル 1,452 ㎡ 本社第2ビル 1,970 ㎡ 資材センター 191 ㎡ 春日部営業所 42 ㎡ 白岡営業所 30 ㎡ 合 計 3,685 ㎡
地球温暖化対策 計画の提出状況	提出日：平成 28 年 6 月 24 日			
地球温暖化対策 推進者名	役職 建築管理部 部長	氏名 小島 正美		
担当者	所属 建築管理部 次長	氏名 石井 健一		
連絡先	電話 048-224-5111	FAX 048-224-5174 電子メール		

2 環境方針 ※(見直しを行った場合、記載すること)

【環境方針の制定日：平成 15 年 1 月 6 日】

(改定されていれば改正日：平成 21 年 10 月 1 日)

1. 省エネルギー・リサイクルに取り組み環境に配慮した活動を推進する。
2. 企業の繁栄と社会的責任を果たすために安全衛生に配慮した活動を実施する。
3. 環境関連法令を遵守し誠実に倫理ある行動をする。
4. 環境マネジメントシステムを実行維持し業務全般で環境に配慮した活動を推進する。

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック結果

項 目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率 (%)	90%	100%	100%	50%	—
前回認証時達成率 (%)	90%	100%	100%	50%	—
項 目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率 (%)	86%	40%	74%	44%	
前回認証時達成率 (%)	86%	40%	74%	44%	

(取組に関する情報・説明)

<節水・水>

- ・トイレの1回の排水使用量を抑える調整の実施。
- ・利用者の節水意識の向上を目指した教育の実施。
- ・節水型トイレ及び節水水栓に交換した。

<グリーン購入>

- ・コピー用紙は、植林木パルプ配合、E C F (無塩素漂白) 製品を使用中
- ・消耗品購入の際は、エコマーク製品を優先購入した。

<その他>

- ・ホームページによる情報公開。
- ・環境保全に関する団体等への参加・支援は今後検討する予定。

<CO2 削減>

- ・「かわぐちエコドライブ宣言」に基づき、「エコドライブ 10 のすすめ」の教育を実施し、燃費向上を図った。
- ・毎月、社有車運行管理表により各車両の燃費及びガソリン使用量を把握し、改善を図った。

<廃棄物>

- ・ごみ等の分別方法を、職場の会議を通じて全社員に周知徹底を図った。
- ・各フロアー別にごみを計量し、分別意識の改善を図った。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

項 目		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	183.0	168.0	161.0	163.0
原単位 (延べ床面積当たり)	t-CO ₂ / m ²	0.0497	0.0456	0.0437	0.0442
原単位の指標数	(床面積)	3685	3685	3685	3685

イ) 工場・現場系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年				
原単位 (延べ床面積当たり)	t-CO ₂ / m ²				
原単位の指標数	(床面積)				

ウ) 自動車燃料 CO₂排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	74.1	63.0	62.4	53.8
原単位 (1 台当たり)	t-CO ₂ /台	2.1171	1.9091	2.0129	1.7355
原単位の指標数	(台数)	35	33	31	31

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	257.1	231.0	223.4	216.8
原単位 (延べ床面積当たり)	t-CO ₂ / m ²	0.0698	0.0627	0.0606	0.0588
原単位の指標数	(床面積)	3685	3685	3685	3685

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

(基準値：平成 24 年度 ～ 平成 26 年度の 3 か年平均)

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値比 増減量 (t-CO ₂)	基準値比 増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (延べ床面積 当たり) (t-CO ₂ /m ²)	基準値比 増減量 (延べ床面積 当たり) (t-CO ₂ /m ²)	基準値比 増減率 (%)
基準値	237.2			0.0644		
27 年度	216.8	△20.4	△8.6	0.0588	△0.0056	△8.7
28 年度						
29 年度						
平均 増減率			△8.6			△8.7

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

電気・ガス使用量において、今年度実績 (163.0 t-CO₂/年) は、平成 27 年度目標 (160 t-CO₂/年) に対して 3.0 t-CO₂/年 削減できなかった。
自動車燃料においては、今年度実績 (53.8 t-CO₂/年) は、車両の交換等で、平成 27 年度目標 (61.8 t-CO₂/年) に対して 8.0 t-CO₂/年 削減できた。
結果全体では、今年度実績 (216.8 t-CO₂/年) は、平成 27 年度目標に対して 5.2 t-CO₂/年 削減できた。

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

廃棄物の今年度実績 (10.06 t) は、平成 27 年度目標 (11.09 t) に対して 1.03 t 削減できた。
リサイクル率においても、今年度実績は 79.2% で目標 (75%) を達成できた。

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり (追加対策に関するコメント)

4 環境への負荷低減の目標

※ (見直しを行った場合、記載すること)

(1) 二酸化炭素の削減目標

年度	目標排出量 (t-CO2)	基準値 (t-CO2)	増減量 (t-CO2)	増減率 (%)	目標 原単位 (延べ床面積当 たり) (t-CO2/m2)	基準値 (延べ床面積当 たり) (t-CO2/m2)	増減量 (延べ床面積当 たり) (t-CO2/m2)	増減率 (%)
27年度	222.0	237.2	△15.2	△6.4%	0.0603	0.0644	△0.0041	△6.4%
28年度	221.3		△15.9	△6.7%	0.0600		△0.0044	△6.8%
29年度	218.0		△19.2	△8.1%	0.0592		△0.0052	△8.1%
平均 増減率				△7.1%				△7.1%

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

--

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及び情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

--

5 環境負荷低減に向けた具体的な取組結果

(1) 二酸化炭素削減の取組結果

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

1) 使用電力削減の取組

- ①フロアーの照明は必要箇所のみ使用し、無人区域における消灯を徹底した。
- ②空調は冷房時 28℃、暖房時 20℃の温度設定の徹底を図り電気使用量及びガス使用量の削減を図った。
- ③毎年 5 月から 10 月を夏のスタイル実践期間とし、事務室では軽装とする等の省エネに努めた。
- ④昼休みの消灯を徹底した。
- ⑤電気設備・機器の新規設置及び交換が生じた場合は省エネタイプのもを使用した。
- ⑥OA 機器の省エネ設定、不在時の電源 OFF を徹底した。

2) 通勤、業務使用車両の燃料(ガソリン) 使用量の削減の取組

- ①車両の交換及び小排気量化を継続し、燃料使用量の削減を図った。
- ②定期的にエコ運転教育を実施し、効率的な運転により燃料使用量の削減を図った。
- ③アイドリングストップの実施を徹底し、使用燃料の削減を図った。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

一般廃棄物の分別を徹底し、分類ごとに廃棄物の重量を計測、記録させて、排出量を削減した。

取扱い図面の紙から電子データに移行するよう推奨した。

データのやり取りは、なるべく電子メールを利用するよう推奨した。

6 取組の実施体制

(1) 各取組の分担や責任者の配置状況 ※(見直しを行った場合、記載すること)

(※組織図を添付)

これまでの取組分担と責任者の配置を継続している。

(2) 取組の従業員への周知状況

環境方針、目標、取組結果については、定期的に行っているISO改善委員会等で周知徹底をしている。

7 取組の運用状況

(1) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

(直近の内部環境監査日：平成 28 年 5 月 26 日)

目標達成状況と取組実施状況の確認については、定期的に行っているISO改善委員会等で周知徹底をしている。

(1) 確認・点検結果に基づく対応概況

確認・点検結果を基に、問題点の原因分析を行い、対応策を検討し、改善に取り組んでいる。

8 評価・見直し

(1) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

(直近の代表者による評価・見直し日：平成 28 年 5 月 11 日)

・代表取締役が全体の評価を行い、「目標」の確認を行った。

(2) 見直し結果の従業員への伝達状況

見直し結果、改善事項について、ISO改善委員会において、各責任者を通じて全従業員に伝達を図った。

9 公表

取組実施状況報告(エコアップ認証)の公表状況

- ・エコアップ宣言及び取組結果について、事業所で閲覧できる状況にしている。
- ・公表方法は次のとおり

事業所(川口市本町4-11-6)

時間：8：00～17：00(土・日・祭日を除く)

場所：本社2F 受付カウンター

電話：048-224-5111

ホームページアドレス：www.kawado.co.jp

関係書類について

項 目	添 付 書 類
1 エコアップ認証EMS	①環境保全に関する取組チェックシート ②燃料等使用量の単位換算(建物系)、算定報告様式(建物系) ③燃料等使用量の単位換算(工場・現場)、算定報告様式(工場・現場) ④自動車燃料に関するCO ₂ 排出量(自動車燃料チェックシート) ⑤廃棄物等排出量実績(自己排出分) ⑥エコアップ認証にかかる目標達成のための具体的な取組(計画)と実施状況の確認・評価の記録(写)(ISOなどのEMP) ⑦会社全体の組織図(工場・支社・支店・営業所等が確認できるもの) ⑧事業所一覧(複数の事業所がある場合) ⑨内部環境監査の記録(写) ⑩マネジメントレビューの記録(写) ⑪自動車の給油量・燃費管理表(任意) ⑫法令及びその他要求事項遵守評価表 ⑬その他必要と認める書類
2 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート ②その他必要と認める書類
3 欠格要件	①必要と認める書類